

令和7年度 福祉みんなのつどい

《講話・講演のご案内》 令和7年11月30日(日)
生涯学習センター 2階

【午前の部】 10:00~11:30

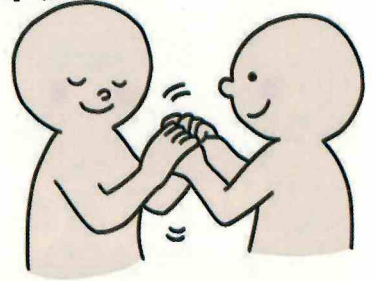
盲ろう者のお話と触手話でのコミュニケーション

テーマ:「盲ろう者として手話と生きる」

講師:高橋和代 氏

内容:①盲ろう者※の生活について

②触手話や手書き文字を使って意思疎通



※盲ろう者とは、「目(視覚)と耳(聴覚)両方の障がいを併せ持つ人」のことをいいます。
盲ろう者は日本全国に1万4,000人ほどと推計されています。

《講師プロフィール》

出身地:神奈川県横浜市

コミュニケーション手段:おもに触手話、指文字、指点字、手書き文字
言語障がいであるが、手話言語を話しています。

所属:代々木公園バンバンクラブ、神奈川県盲ろう者ゆりの会 企画部長、
神奈川県障害者施策審議会障害者当事者部会委員

成育歴:私は生まれつき全ろう。幼い時、夜盲症、視野狭窄という障がいがあり人やモノはやや見えました。

当時のろう学校は手話が禁止されていたため、口話法教育を受けましたが、自分の音声がかうまくしゃべられません。

弱視であることを知らないまま人生が続いていましたが、2002年、盲ろうを持つ先輩と出会ったおかげで、神奈川県盲ろう者ゆりの会の活動がはじまりました。2004年から点字の勉強をして、そして、七沢ライトホームで視覚障がい者向け訓練を受けました。コロナ禍のため、墨字が読めなくなり、代わりに点字ディスプレイを触読しています。

趣味はランニング、ウォーキング、旅行、グルメ



主催:大井町社会福祉協議会

後援:大井町

協力:手話サークル稲穂

大井町身体障がい者福祉協会

かざみどり

神奈川県西部視覚障害者協会

お問合せ ☎ 84-3294

裏面あり